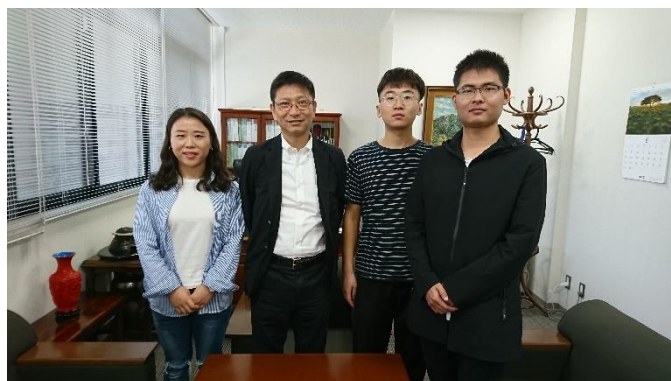


拠点形成研究交流報告：海外研究拠点揚州大学動物科学技術学院の修士 学生と若手研究者交流事業

東北大学農学研究科は、2004年12月に揚州大学動物科学技術大学院と部局間学術交流協定を締結しており、以後、若手教員／大学院生との交流を積極的に実施してきました。2008年6月に、部局間協定は大学間協定に格上され、それ以後は、部局を超えた大学レベルでの交流が継続されております。2017年からは、揚州大学動物科学技術学院は、東北大学農学研究科で実施している JSPS 研究拠点形成事業の海外拠点を担当しており、研究交流をさらに発展させております。

今回、揚州大学修士1年の劉祥聖さん、寧麗麗さん、楊天宇さんが、2019年9月29日～10月16日までの18日間、東北大学農学研究科を訪問しました。3名は、揚州大学では、反芻動物栄養生理学や飼料科学に関する研究に従事しており、東北大学農学研究科に所属する若手研究者／大学院生に揚州大学での研究成果を発表する機会が設けられました。

交流初日は、阿部研究科長を表敬訪問し、東北大学農学研究科の歴史やこれまでの研究業績に関する説明を受けました。3名からは、今回の研究交流への意気込みが阿部研究科長に伝えられました。その後は、応用動物科学コース（青葉山新キャンパス）に所属する7つの研究室を、1日1研究室訪問し、機能形態学／動物栄養生化学／動物微生物学／動物生理学／動物生殖科学／動物遺伝育種学／動物資源化学に関する研究内容を学びました。



阿部研究科長を表敬訪問

18日間の訪問の内の3日間は、東北大学農学研究科川渡フィールドセンター（川渡農場）を訪問し、フィールド研究の奥深さを知りました。川渡では、動物環境システム学および陸圏生態学に関する研究の紹介を受けました。来年度以降も、揚州大学動物科学技術学院との交流を継続することで、東北大学農学研究科は、JSPS 研究拠点形成事業における中国との研究交流をさらに発展させていきます。



川渡農場訪問



研究交流の様子